

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井正憲
	全体計画						経費区分		-		内線	3115
事務事業名	4038 職員厚生事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020108 総務費・総務管理費・職員厚生費										
	事業	010000 職員厚生事業										
事業目的						事業概要・効果						
職員の健康管理と福利厚生の充実を図る。						職員の健康診断・各種検診・人間ドックの委託等を行い、疾病の早期発見と予防に努めるとともに、ストレスチェックの実施及び外部産業カウンセラー、保健師などの専門スタッフの健康相談などを行うことにより、職員の健康増進を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入	①予防接種(破傷風・B型肝炎)②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック)③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理⑤職員の作業着等の購入⑥ストレスチェックの実施と職場分析と所属長による「心の健康づくり計画」の策定⑦セルフケア研修の実施
平成29年度 実績	平成30年度 実績
①予防接種(破傷風・B型肝炎)②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック)③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理⑤職員の作業着等の購入⑥ストレスチェックの実施と職場分析と所属長による「心の健康づくり計画」の策定⑦セルフケア研修の実施	①予防接種(破傷風・B型肝炎)②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック)③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理⑤職員の作業着等の購入⑥ストレスチェックの実施と職場分析と所属長による「心の健康づくり計画」の策定⑦職場支援会議の実施
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
①予防接種(破傷風・B型肝炎)②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック)③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理⑤職員の作業着等の購入⑥ストレスチェックの実施と職場分析⑦職場支援会議の実施	①予防接種(破傷風・B型肝炎)②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック)③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理⑤職員の作業着等の購入⑥ストレスチェックの実施と職場分析⑦職場支援会議の実施

指標名	ストレスチェック受検率				
算式	対象者÷受験者者				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標	100	100	100	100
	実績	99.8	100	99.4	98.3
指標選定の理由	受検率の向上により職員のストレス状況の早期発見につながるとともに、職場環境分析の精度があがるため				
最終年度目標の根拠	令和2年には受検率を100%とし、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		12,444	13,695
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	538	711
一般財源		11,906	12,984
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	0.8	1.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,812.0	6,538.5
	嘱託職員	2,263.2	3,111.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,075.2	9,650.4
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		20,519.2	23,345.4

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	460	産業医謝礼360、健康相談等謝礼100
11節 需用費	635	作業着323、活動服261、医薬剤51
13節 委託費	11,243	健康診断・各種検診7,027、人間ドッグ3,818、ストレスチェック委託料398
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	49	特定健診事業主負担49
その他	57	職員休養室 こたつ用品クリーニング代40 心電計賃借料17

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	360	産業医謝礼360
10節 需用費	650	作業着等購入470、活動服30、医薬材150
12節 委託費	12,600	ストレスチェック支援1,100、健康診断・各種検診8,000、人間ドック委託料3,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	45	特定健診事業主負担45
その他	40	手数料 40

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	ストレスチェックによるメンタル不調者の早期発見により、職員力の低下を防ぎ、組織力の維持・向上を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	健康診断の要精密検査者への受診勧奨の強化を図る。 ホットとする相談や随時の個別面談により、心のケアに一層取り組みたい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	職員のメンタルヘルス業務を一括することでコストの削減を検討していきたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
メンタル不調者の早期発見・早期支援を一層取り組む必要がある。 また、共済組合作成の「健康度サポート」等を参考に事業所とし健康増進を進めていきたい。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>職員の健康診断・各種検診・人間ドック、外部産業カウンセラー、保健師などの専門スタッフの健康相談などを通じ、身体とメンタル両面から職員の健康増進を図る。ハラスメントの早期発見や人事との連携にも十分配慮する。</p>		<p>自らの健康は自ら守るための健康管理を促す。特にメンタルの健康管理は重要であり、早期発見や人事等との連携にも十分配慮する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	